

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、注目された米10月雇用統計が非常に強い内容になったことを受け、一時ドルが急伸(レアルは急落)。3.84台前半までドル高レアル安が進行する時間帯も見られた。雇用統計の数字は、雇用の伸びが予想を大きく上回っただけでなく、賃金も大幅に伸びており、労働市場の需給が引き締まっていることを示唆。FRBが12月に利上げに動く確度が強まったと言えるであろう。非農業部門雇用者数は前月比27.1万人増と、1ヶ月の伸びとしては2014年12月以降で最大を記録。過去2カ月分の雇用者数も合計で1.2万人上方修正(特に、その内訳の中で民間部門の雇用者数が合計で5.6万人上方修正されたことはポジティブ要因である)されたことに加え、失業率も前月の5.1%から5.0%へ改善を示した。また、平均時給も前年比2.5%上昇し、労働者の賃金が上昇しつつある。イエレン議長は4日の議会証言において、「米国経済は堅調に推移しており、12月の利上げ開始へのハードルは相対的に低い」との見解を示したが、今回の結果はその発言に符合する内容であり、12月までにマーケットに特段の混乱が見られなければ、FRBが利上げに動くと想定するのが妥当であろう。

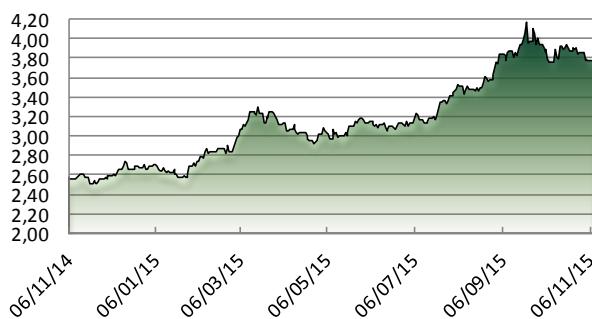
6日に公表されたブラジル10月IPCAは前年比9.93%と、9月の9.49%から上昇が加速。2003年11月以来約12年ぶりの高い伸びを示し、10%台乗せが目前に迫っている。

マーケットデータ

Indicator	Unit	11月5日	11月6日	前日比	10月6日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	3,7800	3,7688	-0,0112	3,8526	-0,0838
	対円	32,21	32,67	+0,46	31,21	+1,46
	対ユーロ	4,1155	4,0508	-0,0647	4,3432	-0,2924
円	対ドル	121,75	123,13	+1,3800	120,23	+2,9000
	対ユーロ	132,51	132,25	-0,26	135,52	-3,27
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	48.047	46.919	-1.128	47.735	-816
CDS Brazil 5yrs (クレジット・フルストップ)	bps	399,4	405,2	+5,8	407,0	-1,8
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	15,53	15,57	+0,04	15,25	+0,32
DI Future Jan17 (金利先物)	%	15,37	15,35	-0,02	15,23	+0,12
3 Months US Dollar Libor	%	0,344	0,341	-0,003	0,318	+0,023
CRB Index (国際商品指数)	Index	192,4	191,0	-1,4	200,1	-9,1

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

